

全国ローバースカウト会議(RCJ)について



2023年度 RCJ 総会(岡山市)

RCJとは

全国ローバースカウト会議（RCJ）とは、全国のローバースカウトを構成員とした、ローバー年代の会議体である。RCJはボーイスカウト日本連盟に加盟登録のある18歳から25歳のスカウトおよび同年代指導者によって構成されている。当組織は2012年5月27日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター（NYC）において開催された設立総会に参加した31県連盟の県代表によって設立が宣言された。現在は、”Creating a Better World by Rovers” という Vision を掲げて活動している。

団体情報

団体名

全国ローバースカウト会議(英称:Rover Scout Council of Japan、略称:RCJ)

設立

2012年5月

代表者(議長)

武田 蒼（山形県連盟 山形市第1団）（2024年3月現在）

活動内容

- ・ 多様なローバースカウト活動の促進
- ・ ローバースカウトに関する情報・意見の集約と発信
- ・ スカウティングにおける青年参画の促進および日本連盟への提言の実施

憲章

こちらから閲覧可 <https://rcjweb.jp/rcjcharter>

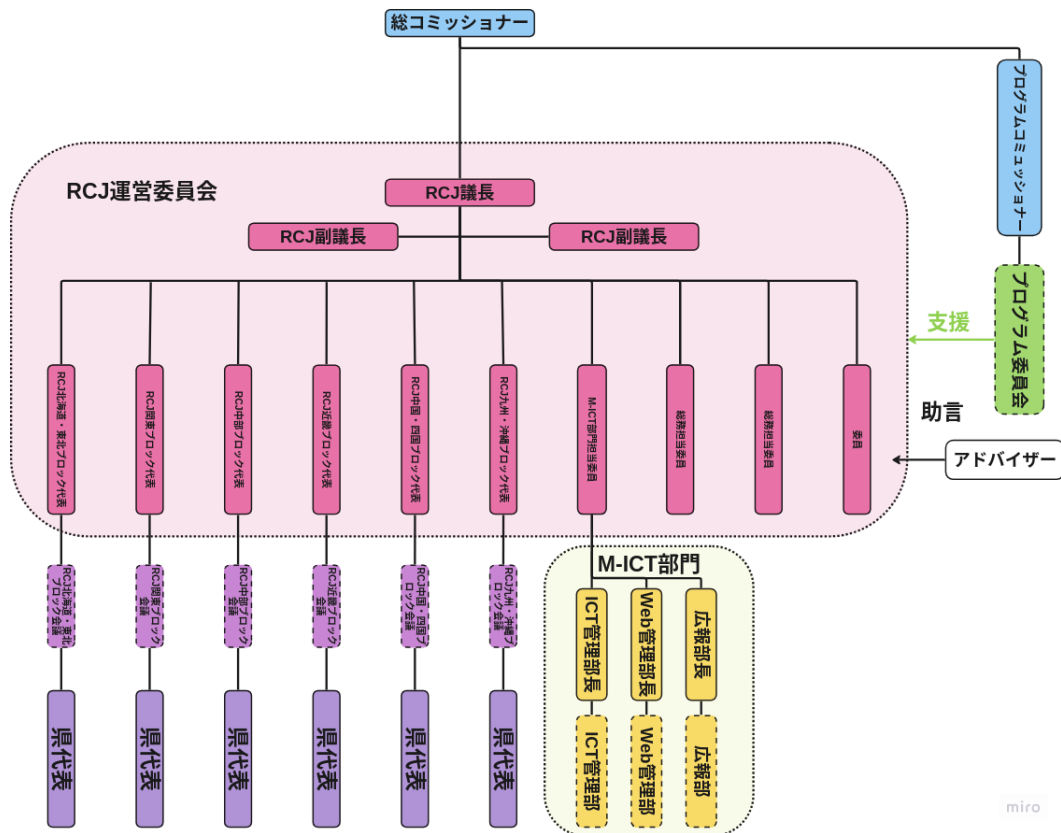
沿革

年	イベント
2012	全国ローバースカウト会議設立総会開催、本団体の設立が宣言（東京都・国立オリンピック記念青少年総合センター）
2013	2013年度年次総会開催（香川県・サンポートホール高松） 第16回日本ジャンボリーにてローバーナイト開催（山口県・阿知須きらら浜）
2014	2014年度年次総会開催（和歌山県・和歌山県民文化会館）
2015	2015年度年次総会開催（石川県・こまつ芸術劇場うらら） RCJ フォーラム 2015 開催（静岡県・富士山麓山の村）
2016	2016年度年次総会開催（宮城県・東京エレクトロンホール宮城） RCJ クエスト 2016 in 高萩開催（茨城県・大和の森高萩スカウトフィールド）
2017	2017年度年次総会開催（鳥取県・とりぎん文化会館） RCJ フォーラム 2017 開催（大阪府・大阪府立少年自然の家）
2018	2018年度年次総会開催（岐阜県・長良川国際会議場） RCJ Re:Quest 開催（茨城県・大和の森高萩スカウトフィールド）
2019	2019年度年次総会開催（鹿児島県・鹿児島市民文化ホール）

	RCJ-JOTI 開催 (オンライン)
2020	MOTI 開催
	2020 年度年次総会開催 (オンライン)
	RCJ フォーラム 2020 開催 (オンライン)
	MOTI+開催
2021	EARTH HOUR 2021 に際し、#旅する60パンダに参加しよう！プログラムを展開
	2021 年度年次総会開催 (オンライン)
	RCJ X 開催 (オンライン)
	MOTI++開催
2022	2022 年度年次総会開催 (兵庫県・アクリエひめじ)
	臨時総会開催 (オンライン)
	2024 年のムート開催が運営委員会にて決議
	MOTI next 開催
2023	RCJ フォーラム 2022 開催 (オンライン)、会期中にプロジェクトアイディアコンテストを実施
	2023 年度年次総会開催 (岡山県・岡山国際交流センター)
	ポッドキャスト「ボイス・スカウト」公開
	MOTI 2023 開催
2024	活動情報共有サイト「ROVER PORT」公開 (予定)

組織体制

2024年度組織図(予定)



概要

- ・ RCJは、全国のすべてのローバースカウトおよび同年代運営指導者により構成される。
- ・ 各県連盟から1人ずつ県連盟代表者を選出する。
- ・ 県連盟代表者はブロックごとにRCJブロック会議を実施する。
- ・ 各ブロックから1人ずつブロック代表者を選出する。
- ・ ブロック代表者はRCJ運営委員会委員となる。

運営委員会の役務

- ・ R C J 運営委員会は本組織全体の運営を円滑に行うために常設される。
- ・ 運営委員会委員は、以下の区分により選出される。
 - 留任枠：前期運営委員会から選出された者。
 - ブロック代表者枠：前述したブロック代表者。
 - 選挙枠：総会場で県連盟代表者による選挙において選出された者。
- ・ 運営委員会には以下の役職を置く。
 - 議長（1人）**
総会、運営委員会をまとめ、この組織を代表する。
 - 副議長（2人）**
議長を補佐し、議長が不在の時はこれを代理する。
 - M-ICT部門担当（1人）**
M-ICT部門長としてM-ICT部門全体の統括および運営委員会との連携を行う。
運営委員会内部で完結する必要があるWeb・広報等の業務を実施する。
名称に関しては仮である。
- ・ 総務（外部連携）担当（2人程度）
 - ・ 主にRCJ内部に設置するタスクチームやRCJが直接実施するもの以外のローバースカウトが運営する事業の実行委員会との連携や助言を行う。
 - ・ 名称に関しては仮である。

附属部門について

- ・ R C J 運営委員会では、特定の業務の補佐を目的とした専門の人員を集めた常設の部門として、「附属部門」を設けている。
- ・ 現在のところ、設置されている部門は「M-ICT部門」のみである。
- ・ 2024年度のM-ICT部門では、2023年度まで期限付きで設置されていたWeb、広報各タスクチームの業務を継承し、SNSやRCJ Webといったメディア媒体の運用などのメディア・ICT関連業務を行う。
- ・ これまで募集にあたっての規定が明確化されていなかったが、2024年度はより開かれた組織となることを目指し、部門員の公募を行うこととする。
- ・ 以下にこれまでの活動事例（Webタスクチーム・広報タスクチームのものを含む）および2024年度の組織体制（予定）を示す。

活動事例

- ・ 公式サイト RCJ Web (<https://rcjweb.jp/>) および活動情報共有サイト「ROVER PORT」（2024年3月公開）の作成・保守管理・更新
- ・ 公式LINE、Facebook、Instagramの投稿
- ・ ポッドキャスト「ボイス・スカウト」(<https://podcasters.spotify.com/pod/show/voicescout/>)の投稿

組織体制

- ・ M-ICT部門の中に以下の部署を置く。

広報部

主にSNSやボイス・スカウトの運用を行う。

Web管理部

主にRCJで管理するWebの管理、運用を行う。

ICT管理部

主にRCJで使用する各種アカウントなどの管理を行う。

- ・ 部門内に以下の役職を1名ずつ置く。
 部門長（運営委員会M-ICT部門担当委員）
 広報部長
 Web管理部長
 ICT管理部長
- ・ 部門員の総数は7-8人程度を目安とする（各部署2-3人を想定）。
- ・ 部門員の募集は公募による。
- ・ 部門員は複数の部署を兼ねることができる。

以上



RCJ総会の様子



第12期運営委員会